



NEWS
合併号



稼げる農業ビジネスEXPO
食農・就農交流展

発行元：GPEC & ABJ NEWS 編集室

〒100-0013 東京都千代田区霞が関1-4-2

大同生命霞が関ビル4階 アテックス(株)内

www.gpec.jp

www.agri-business.jp

7月開催の“農業”展、盛大に開催へ

高収益技術と経営の向上に高まる期待

本年7月27日(水)から29日(金)までの三日間、東京ビッグサイトにおいて施設園芸・植物工場展(GPEC)と、アグリ・ビジネス・ジャパン(稼げる農業ビジネスEXPO、食農・就農交流展)が合同開催される。四回目の開催を迎えるGPECは、規模を大幅に拡大して開催する予定。また初開催のアグリ・ビジネス・ジャパンは、露地全般に関わる農

業をターゲットとした資機材等が対象の「稼げる農業ビジネスEXPO」と、農業生産者が出席して農産物や加工品の販売、就農希望者を募る「食農・就農交流展」の二つから構成される。これら農業ビジネスの展示会が関係する企業や農業生産者にとって、有意義で効果のある、総合的な催しとして大きな期待が寄せられる。

施設園芸・植物工場展

新規出展が4割超、過去最大規模で開催へ

今回のGPECは過去最大のスケールで開催されることとなった。初参加企業は、パナソニックや三菱商事、イズ中部、エコホールディングス、前川製作所など、全体参加者の4割を占めている。

また、継続出展においても、エスベックミツクや佐藤産業、サンホープ、昭和電工、成電工業など、展示内容の充実に合わせてスペースを拡大しており、中には前回の2倍の規模とした企業もある。さらに、岩谷産業、クボタ、富士電機、矢崎化工など、出展が復活したケースもある。

いっぽう、海外出展も充実しており、オランダ、韓国によるグループ出展に加え、シンガポールや台湾のLEDメーカーなども参加する。日本の施設園芸・植物工場分野へ、海外企業からの注目度や売り込みも高まっているといえる。(出展者一覧は裏面参照)

来場動員も進行中

ニーズは多種多様

出展募集とともに来場者の動員にも力を入れる。まずは入場料が無料になる事前来場登録。公式Webにて3月上旬から受付が始まっている。すでに前回は上回る多くの生産者、農業参入希望者が登録しており、求める製品や探している機器・資材についてコメントを寄せている。

例をあげると、ハウス内外の消毒な

ど衛生管理や病害虫対策への資材、設備の自動化、生産性向上につながるITソフト、植物工場の設置・運営コスト削減につながるシステムや機器を見たいとの要望がきている。その他、イチゴ・トマト・パプリカの収益モデルやイチゴ栽培に最適したLED、低コストで災害に強いハウスなど、要望も多彩だ。今回も明確な目的を持ち会場へ足を運ぶ来場者が増えると想定される。



出展スペースを緊急確保

止まない出展希望に対応

出展申込期限を過ぎた現在も、事務局には連日、出展希望が寄せられている。すでに申込を済ませた企業からも、「増小間は可能か」等の問合せもあり、事務局では出展スペースを拡張して対応することを急遽決定。事務局では、新たに出席したい企業は至急連絡してほしいとしている。

稼げる農業ビジネスEXPO

農業のビジネスチャンス拡大

「ABJ・稼げる農業ビジネスEXPO」は、農林畜産業での新たなビジネスチャンスを狙う企業向けのトレード・ショーだ。「日本の稼げる農業」をめざし、要素技術と6次産業化ビジネスモデル、マーケティング・輸出志向事業などを一堂に集め、国際的な競争力強化のための一助とする催し。本展はGPECと連携しながら、ICTなど先進技術の利活用のみならず、消費者が求める高付加価値の農産物を流通させる仕組みについて、情報発信やサービス提供をしていく。

一方、想定される来場者は、GPECの主要来場者層である農業生産者や国・自治体、JA関係者など。異業種からの新規参入やベンチャー・キャピタル、融資機関、TLO(技術移転機関)等にも及ぶ。これらの来場誘致については、時事通信社などの広範なネットワークを通じて多角的に展開していく。GPECとの相互入場により、農業法人や篤農家との絶好の商談・情報交流の機会となりそうだ。

初開催の本展に対し、食品業界団体や流通関係の団体からの協力も得られそうだ。新たな商材はもちろん、惣菜用の食材、安定供給を目指す流通業界でも、直接取引できる生産者を増やすことへの関心は高い。いきおい、出展者との商談が期待できそうだ。



食農・就農 交流展

「食農」と「就農」がテーマ
出展は1日から可能

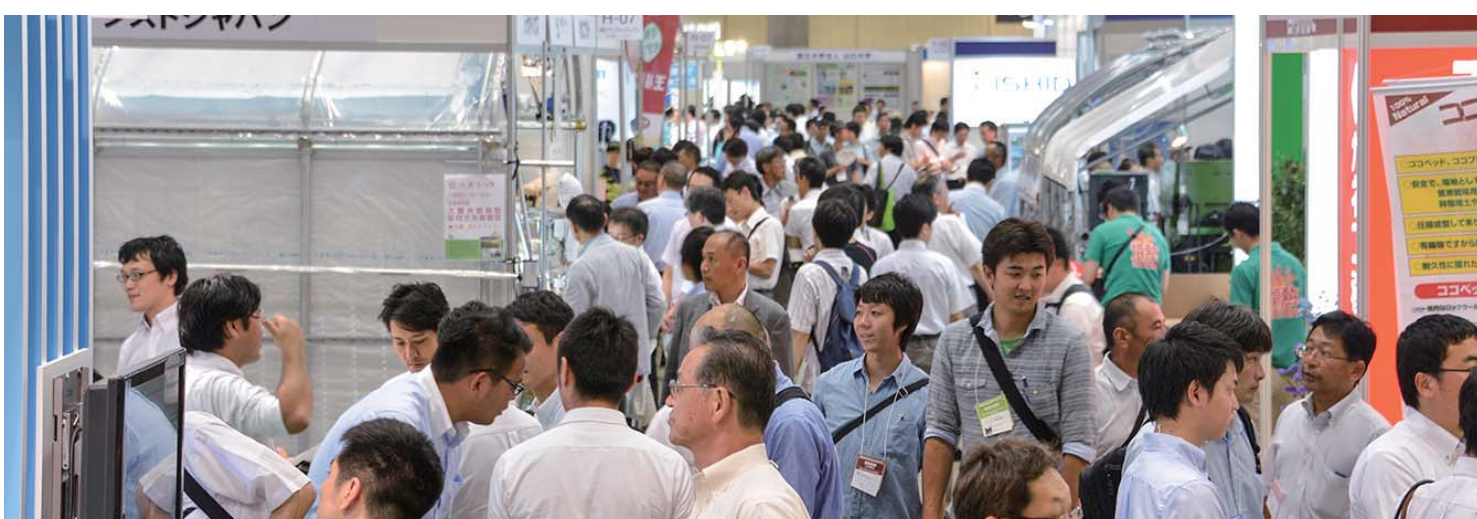
食農・就農交流展は、農業生産者が販路拡大を目指し、就農希望者を募るユニークな展示会だ。出展対象が生産者のため、会期三日間に対して一日より出展できるのも特長。出展を検討している生産者からは、「農場があるのに、一日から出展できるのは魅力的」との声も多く聞かれる。GPECでは来場する側であった生産者が、出展する側にもなり、資機材メーカーとの交流・商談が一層すすむことが期待され、既存のGPEC出展者からも多くの注目を集めている。JAや地元のプロダクトが集まって出展したり、自治体主導で、一日単位で出展が可能だ。JAや自治体が申し込んだブースに、日替わりで生産者が出展することで、より多くの生産者が商談・PRする機会を設けることができる。

締切へ向け法人・団体からの問い合わせが日々増えている。特に団体関連は、「予算は4月に入ってから」との声も多く聞かれるため、事務局では最終募集を行っていく。

食品・流通関係者 就農希望者を確実に来場へ

就農分野への注目も高い。新たに農場を開く農業法人では、「広く就農者を募集したい」と本展への出展を検討中だ。また各地の農業振興公社などからも、「農地賃貸」も含めた展示を検討したいなど、問合せが相次いでいる。事務局では、同時開催のGPECと連動し、全国の農業高校・農業大学への来場誘致も行っていく。施設園芸・植物工場の資機材などが見られるGPEC

Cと、農業に携わる生産者やJA、農業振興公社と触れ合える本展で、未来の就農者へ向け訴求していく予定だ。



施設園芸・植物工場展(GPEC)事務局
アグリ・ビジネス・ジャパン事務局

〒100-0013
東京都千代田区霞が関1-4-2
大同生命霞が関ビル4階
アテックス(株)内
TEL
03-3503-7703(GPEC)
03-3503-7611(ABJ)
E-mail
ofc@gpec.jp(GPEC)
ofc@agri-business.jp(ABJ)



出展予定企業一覧



稼げる農業ビジネスEXPO 食農・就農交流展

※検討企業、共同出展含む

| | | |
|-------------------|------------------------------------|--|
| あ行 | 静岡県庁 文化・観光部 観光交流局 観光政策課 | は行 |
| IT工房Z | しまね農業振興公社 | バイオニア風力機 |
| アキレス | ジャパンドームハウス | ハイポネックスジャパン |
| あぐりーん | 上越電子工業 | パナソニック |
| アグリメディア | 昭光通商アグリ | PS ソリューションズ |
| アグリライト研究所 | 昭和電工 | 日立化成 |
| アシストジャパン | 昭和電工ガスプロダクツ | 廣瀬製紙 |
| 東海運 AZUMA FARM 三重 | 食文化 | ファームシップ |
| 有光工業 | シラオイ | 福井県 農林水産部 生産振興課 |
| アルミス | 信州大学 先進植物工場研究教育センター | 福井シード |
| イーエス・ウォーターネット | 新農林社 | 富士アイティ |
| イーサポートリンク | スナオ電気 | 富士通 |
| イーズ | 住友ベークライト | 富士電機 |
| イーズ中部 | 青果物選果予冷施設協議会 | ブルーウェーブテクノロジーズ |
| イーソル | 星光社 | フルタ・エンネツ |
| いけうち | 成電工業 | フルタ電機 |
| 池田テクニカル | 誠和。 | フローラ |
| イシダ | 積水化学工業 | プロマテリアル |
| 伊東電機 | セムコーポレーション | ベジタリア |
| イノプレックス | セラク | ベストクropp |
| 茨城県農林振興公社 | 全国農業協同組合連合会 (JA全農) | ホーグス |
| 揖斐川工業 | 全国野菜園芸技術研究会 | ホームクオリティ |
| イワキ | た行 | ホリアキ |
| イワタニアグリグリーン | ダイオ化成 | 堀場製作所 |
| 岩谷産業 | 大洋化学 | ま行 |
| インターナショナル・ローカル | 大陽日酸ガス&ウェルディング | 前川製作所 |
| インターナショナル プロダクト | 高田種苗 | 町田商工会議所 |
| AGCグリーンテック | タカヒコアグリビジネス | 丸昇農材 |
| エコホールディングス | タキゲン製造 | 三菱化学 |
| SMC | タキロン | 三菱樹脂アグリドリーム |
| エスベックミック | 田中精密工業 | みづぼ物産 |
| LSふぁーむ | 千葉大学 | 明治大学 植物工場基盤技術研究センター |
| 大内わら工品 | ツジコー | メイワフォーシス |
| OAT アグリオ | ディーグラット | や行 |
| 大阪府立大学 植物工場研究センター | テヌート | 野菜流通カット協議会 |
| オーガニック nico | デンカ | 矢崎化工 |
| か行 | デンソー | ヤンマー |
| カネコ種苗 | 東亜化学工業 | ヤンマーアグリジャパン |
| 関東天然瓦斯開発 | 東海物産 | ヤンマーエネルギーシステム |
| キーストンテクノロジー | 東京インキ | ヤンマーグリーンシステム |
| 共立イリゲート | 東京特殊電線 | ユニット |
| 協和 | 東都興業 | ユビキタス環境制御システム研究会 |
| クボタ | トキタ種苗 | 横浜市 |
| クボタアグリサービス | 土佐レジン | ら行 |
| クラレトレーディング | 鳥取再資源化研究所 | 菱電商事 |
| Greenway | トミタテクノロジー | ルートレック・ネットワークス |
| グリーンコムジャパン | 巴商会 | ルミナスジャパン |
| KEIGO | 富山スマートアグリ次世代施設園芸拠点整備協議会(スマートフォレスト) | ロンテック |
| 高知県産業振興センター | トヨハシ種苗 | わ行 |
| 国際農業社 | な行 | 渡辺パイプ |
| 小林クリエイト | 南勢小橋電機 | 海外 |
| さ行 | ニクニ | オランダ王国大使館 |
| サカタのタネ | 日建リース工業 | 在東京タイ王国大使館 |
| 坂本技研 | 日新商事 | ARIANETECH PTE |
| 佐藤産業 | 日東紡績 | ASTHOR AGRICOLA |
| 里山村 | 日本ポリスター | HORTILED |
| 産機 | 日本アドバンスアグリ | KAMICO (KOREA AGRICULTURAL MACHINERY INDUSTRY COOPERATIVE) |
| 三基計装 | 日本コムダック | L-FIELD |
| 三協フロンテア | 日本農民新聞社 園芸情報センター | MARDENKRO JAPAN |
| サンキンB&G | 日本養液栽培研究会 | OPCOM |
| サンテラ | 日本ロックウール | PEOPLE'S COMMITTEE OF LAM DONG PROVINCE |
| サンホープ | 日本ワイドクロス | PHILIPS LIGHTING |
| サンポリ | ネットアンドサービス | PRIVA |
| シーアイ化成 | ネボン | RIJK ZWAAN EXPORT |
| シーアイマテックス | 農業技術研究会 | ROYAL BRINKMAN INTERNATIONAL |
| JA三井リース | 農業共済新聞(全国農業共済協会) | TSAI THING INT'L TECHNOLOGY |
| 四国総合研究所 | 農研機構 野菜茶業研究所 | VB GROUP |
| 静岡県庁 研究調整課 | 農山漁村文化協会 | |

AGRI BUSINESS JAPAN アグリ・ビジネス・ジャパン

出展申込締切延長

出展申し込みの締め切りは4月15日(金)だが、問合せの状況等をふまえ、事務局では4月いっぱいまで締切を延長する。事務局では、ABJに関心のある方は、メール・電話等で連絡してほしいとしている。展示会の詳細については事務局まで。

事前来場登録もスタート

ABJ公式Webでは、入場料が無料となる事前来場登録の受付を先日開始した。展示会場内で見たい製品やサービスなど、登録者から要望も募っている。5月以降にリリースされる講演会・セミナーなどの最新情報や聴講受付は公式Webから発信されるため、早めの登録が必要だ。

